

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

地元特産の 次郎柿を使った レトルトカレーを発売



浜松市浜北地区は、全国でも有名なブランド柿「次郎柿」の産地です。浜北商工会女性部は、20年以上にわたって「遠州はまさた飛竜まつり」で手づくりのカレーを販売してきました。地元では「女性部カレー」として定着していましたが、コロナ禍で祭りが中止となり提供する機会を失ったことをきっかけに、2022年度から「カレーをレトルトパックにして販売しよう」という活動を開始しました。

女性部に代々受け継がれてきたカレーのレシピに「次郎柿」を加えて、誰でもおいしく食べられる甘口に近い辛の浜北カレーを考案しました。試食やアンケートを重ねながら商品化に取り組み、2023年10月、「はまさたカレーヌ」の販売を開始しました。商品名は女性を意味するフランス語「エンヌ」とカレーを掛け合わせて「カレーヌ」と名づけ、パッケージは贈り物に使いやすい熨斗仕様で、裏面に浜北

調味塩を開発・販売 そると事業で 楽しい女性部に 上下町商工会女性部(広島県)



オオバコの採集を行った女性部員たち

の観光紹介を掲載するなどの工夫をしました。「商工会女性部全国大会 in しずおか」の物産展では、用意した300個が完売しました。



上、下／「遠州はまきた飛竜まつり」での販売の様子 左／次郎柿を使った「はまきたカレーヌ」は女性部全国大会でも完売

今後は、「はまきたカレーヌ」を地元の特産品として根づかせ、多くの方々に知って食べてもらうことで浜北をPRし、地域貢献につなげていきます。



上下町は、広島県東部、府中市の北部に位置する中山間地域で、まち並みは江戸時代の面影を残しています。私たち上下町商工会女性部は、イベントへの参加で地域貢献をしています。が、ほかのかたちで地域貢献ができないかと模索していました。そんななか、野草専門家の先生と出会い、先生から「上下町は野草の宝庫です。この野草を活用して元気が出る商品をつく



「上下そとシリーズ」は4種類がラインナップ

ってみませんか」という提案を受け、私たちのチャレンジが始まりました。試行錯誤の末、2019年「上下野草そと」を開発して販売にこぎつけ、その後、姉妹品となる3種類の調味塩を開発し、「上下そとシリーズ」としてラインナップが揃いましたが、販売を開始した矢先、コロナ禍により売り上げが低迷しました。

その間、広島県、全国連の補助事業により、4種類の商品を使いやすく小分けにした新たなパッケージの作成や販路開拓に取り組み、現在売り上げは徐々に回復しています。今年度は上下町を広く知ってもらうために、県外への販路開拓に尽力しています。

そると事業は、上下町のPRのためだけでなく、部員みんなで楽しく製造販売をし、ほかの事業をするための新たな収入源となっています。その収益でワクワクする事業を実施し、わずかではありますが部員や地域に収益を還元できる好循環を生む、楽しい女性部を目指します。